

日独学長会議 報告

概 要

開催日：2010年5月17日(月)、18日(火)

開催場所：ドイツ・ベルリン

(1日目)ベルリン自由大学 サイエンス・コンファレンスセンター

(2日目)ベルリン日独センター

参加者：大学関係者、教育省庁関係者など約173名

・日本側大学：74名(32大学(国立21大学、公立1大学、私立10大学))

・ドイツ側大学：49名(35大学)

・その他(大使館、関係省庁、関係団体等) 50名

2010年5月17日(月)、18日(火)の両日、ドイツ・ベルリンにて第1回日独学長会議が開催された。本会議は、2006年2月に開催された日本におけるドイツ年記念シンポジウム「日独における高等教育改革—評価と将来構想—」を契機として開催されたものである。

会議では「日独における高等教育改革—共通の課題と協力の契機」をテーマとして、1日目は両国における高等教育の現状や、質の高い教育研究にかかる方策について、2日目は大学の運営や両国間の学術交流の促進について、言語や就職の問題など多様な観点から、活発な議論が行われた。また、ドイツ側からは、欧州内でのボローニャプロセスの評価や、実際に移動を伴う国際化(transnational)の提案など、日本の大学関係者にとって興味のある意見も寄せられた。

本会議を契機に、両国の高等教育と教職員及び学生の流動性が推進され、両国の大学間の協力関係がよりよい方向に導かれることを期待するところである。

また、日独学長会議に先立ち、17日の午前中にドイツ教育研究省との会合が行われ、ドイツ教育研究省アジアオセアニア課長より講演があり、意見交換が行われた。2日目の会議終了後には、森鷗外記念館においてフンボルト大学の歓迎を受けるなど、充実した内容の2日間となった。また、1日目夜はドイツ・ノルトラインヴァストファーレン州(以下、NRW州)科学・革新・研究・技術担当副大臣主催のレセプションが、2日目夜は在ドイツ日本国大使館主催のレセプションが開催され、会議に花を添えるとともに、両国関係者の交流が一層深まった。



ドイツ教育訓練省との会合

- ・日時：5月17日(月) 10:00~12:00
- ・場所：ベルリン自由大学 サイエンス・カンファレンスセンター

◇講演

「ドイツにおける研究開発体制について—構造、目的、財政」

クリスチャン・シュタイネン (Christian Stienen) / ドイツ教育研究省アジアオセアニア課長



シュタイネン課長



会合の様子

日独学長会議(1日目)

- ・日時：5月17日(月) 14:00~17:30
- ・場所：ベルリン自由大学 サイエンス・カンファレンスセンター
- ・テーマ：『日独における高等教育改革——共通の課題、協力の契機』
- ・会議言語：英語

◇基調講演 (14:00~15:00)

司会：カール・ディーター・グルスケ (Karl-Dieter GRÜSKE)

／ドイツ学長会議(HRK)研究担当副議長、エアランゲン - ニュルンベルグ大学

「優れた教育研究への支援——ベルリン自由大学の場合」

モニカ・シェーファー・コーティング (Monika SCHÄFER-KORTING)

／ベルリン自由大学副学長

「優れた教育研究への支援——日本の場合」

有川節夫 (ありかわ・せつお) / JACUIE 座長、九州大学総長



グルスケ副議長



コーティング副学長



有川座長



会場の様子 1



会場の様子 2

◇パネルディスカッション（15：30～17：30）

『如何にして優れた教育研究に対する支援をなし得るか』

司会：ヤン＝マルティン・ヴィアルダ (Jan-Martin WIARDA)／『ディー・ツァイト』編集者

パネリスト：

アグネス・アントーニア・アウアー (Agnes Antonia AUER)／ミュンヘン工科大学学生代表

アクセル・フライムート (Axel FREIMUTH)／ケルン大学長

カール・ディーター・グルスケ (Karl-Dieter GRÜSKE)

／HRK 研究担当副議長、エアランゲン - ニュルンベルグ大学

小平桂一 (こだいら・けいいち)／日本学術振興会ボン研究連絡センター長

内田勝一 (うちだ・かついち)／早稲田大学副総長

ハラルド・フォン・カルム (Harald VON KALM)／ドイツ研究協会

山田信博 (やまだ・のぶひろ)／筑波大学長



(左から)加仏氏 グルスケ副議長 山田学長 ヴィアルダ氏 フライムート学長 内田副総長 アグネ氏 小平センター長

NRW 州科学・革新研究・技術省主催レセプション

・日時：5月17日(月) 18：30～21：00

・場所：NRW 州地方局ゲストハウス

◇挨拶

ミヒャエル・シュトックラート (Michael STÜCKRADT)

／NRW 州経済・革新・研究・テクノロジー省次官

神余隆博 (しんよ・たかひろ)／駐ドイツ日本国大使

◇開会の辞

マルグレート・ヴィンターマンテル (Margret WINTERMANTEL)／HRK議長

浅原利正 (あさはら・としまさ)／広島大学長

アクセル・フライムート (Axel FREIMUTH)／ケルン大学長



シュトックラート次官



神余大使



浅原学長



ヴィンターマンテル議長



フライムート学長

日独学長会議(2日目)

- ・日時：5月18日(火) 9:00~15:30
- ・場所：ベルリン日独センター
- ・テーマ：『日独における高等教育改革——共通の課題、協力の契機』
- ・会議言語：日本語およびドイツ語（同時通訳付き）

◇開会の挨拶ならびに導入（9:00~9:30）

神余隆博 (しんよ・たかひろ) / 駐ドイツ日本国大使
フリデリーケ・ボッセ (Friederike BOSSE) / ベルリン日独センター事務総長
マルグレート・ヴィンターマンテル (Margret WINTERMANTEL) / HRK議長
濱田純一 (はまだ・じゅんいち) / 社団法人国立大学協会会長、東京大学長



神余大使



ボッセ事務総長



ヴィンターマンテル議長



濱田総長



会場の様子1



会場の様子2

◇第一セッション（9:30~11:00）

『変遷する大学運営——アカデミックな自治からトップダウンマネジメントへの移行か』
司会：片山卓也 (かたやま・たくや) / 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学学長

「大学運営の新しい形——日本の場合」

安保重一 (あんぼ・まさかず) / 大阪府立大学理事・副学長

「大学運営の新しい形——ドイツの場合」

マルグレート・ヴィンターマンテル (Margret WINTERMANTEL) / HRK議長



プレゼンテーション



ディスカッション1



ディスカッション2

◇第二セッション（11：30～13：00）

『大学の戦略的国際化ならびに共同活動のチャンス』

司会：ジョイブラト・ムケルジー (Joybrato MUKHERJEE)

／ユストゥス・リービヒ大学ギーゼン学長

「大学の国際化——ドイツの場合」

ディーター・レンツェン (Dieter LENZEN)

／HRK 国際交流担当副議長、ハンブルク大学学長

「大学の国際化——日本の場合」

佐藤東洋士 (さとう・とよし)／桜美林大学学長、学校法人桜美林学園理事長



プレゼンテーション



ディスカッション1



ディスカッション2

◇パネルディスカッション（14：00～15：30）

『21世紀の大学——大学として如何にグローバル化の課題に対処し得るか』

司会：ヤン＝マルティン・ヴィアルダ (Jan-Martin WIARDA)／『ディー・ツァイト』編集者

パネリスト：

濱口道成 (はまぐち・みちなり)／Professor Dr、名古屋大学総長

氷見谷直紀 (ひみや・なおき)／文部科学省高等教育局国際企画室長

ライナー・クルンプ (Rainer KLUMP)

／ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン国際化担当副総長

ディーター・レンツェン (Dieter LENZEN)／HRK 副議長、ハンブルク大学学長

モンテ・カセム (Monte CASSIM)／立命館大学副総長

ミヒャエル・シュトックラート (Michael STÜCKRADT)

／NRW 州経済・革新・研究・テクノロジー省次官



7名のパネリスト



ディスカッション1



ディスカッション2

在ドイツ日本国大使館主催レセプション

- ・日時：5月18日(火) 19：00～21：00
- ・場所：在ドイツ日本国大使館

◇挨拶

神余隆博 (しんよ・たかひろ)／駐ドイツ日本国大使
丸本卓也 (まるもと・たくや)／山口大学学長
浅原利正 (あさはら・としまさ)／広島大学学長

森鷗外記念館における歓迎会

- ・日時：5月18日(火) 16：00～17：00
- ・場所：森鷗外記念館



森鷗外記念館（外観）



挨拶